



「にんしん」をきっかけに 誰もが孤立することなく  
自由に幸せに生きていける社会の実現を目指して

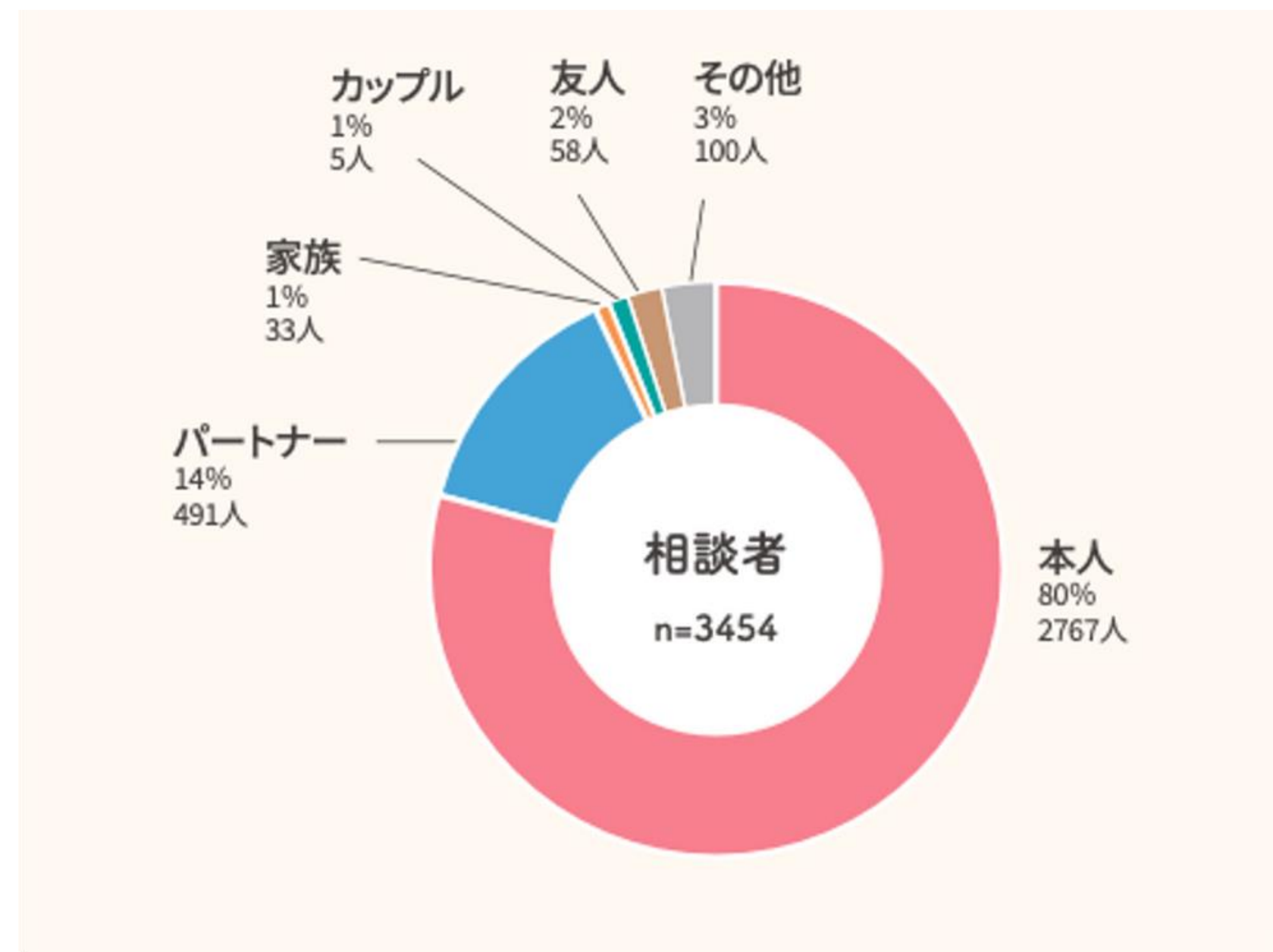
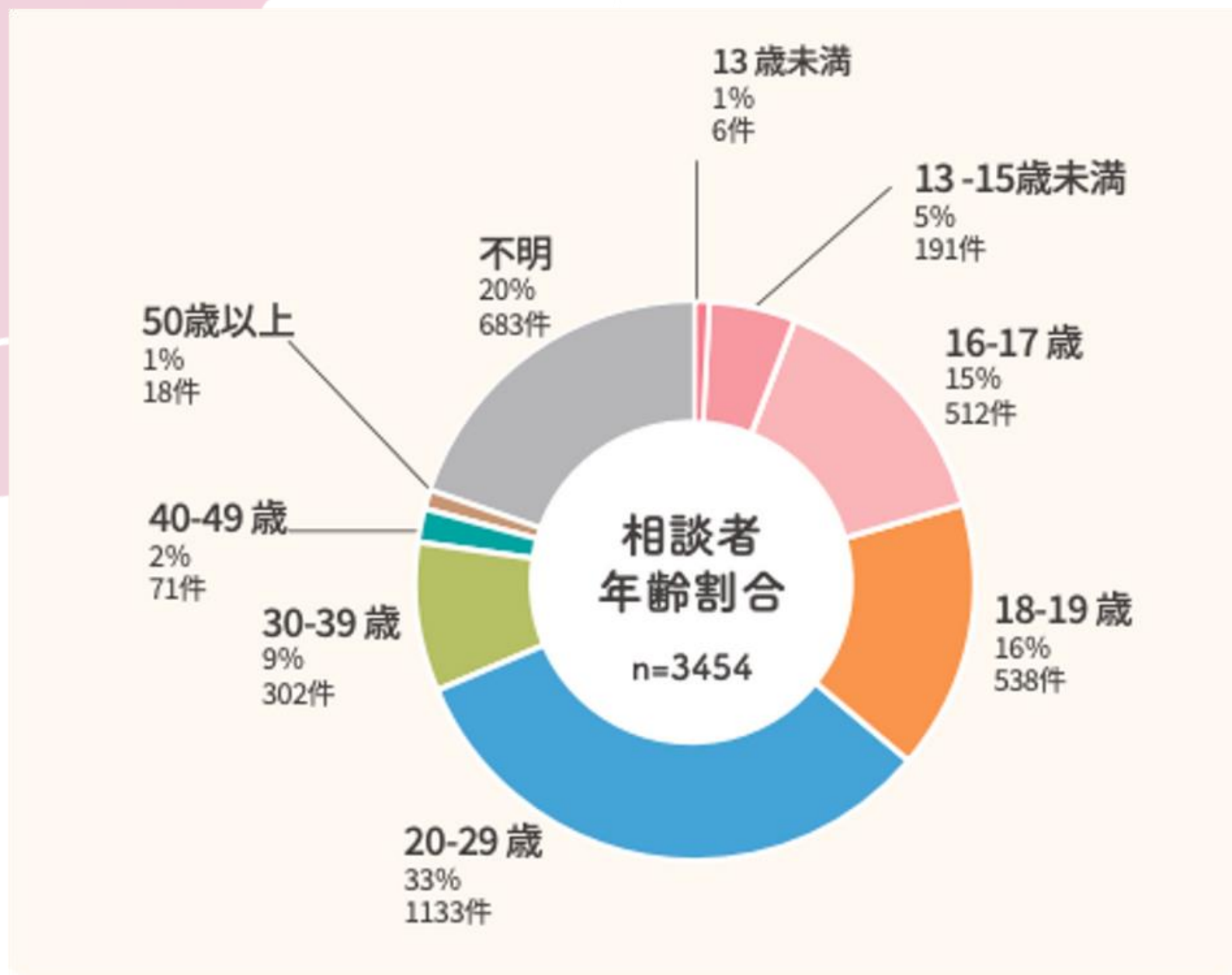
「にんしん」にまつわる全ての「困った」「どうしよう」に寄り添う

## ピッコラーレが取り組む4つの事業

妊娠葛藤相談窓口寄せられる声を聞くことによって見えてきた課題解決へ向けて、相談支援事業のほか3つの事業を展開。



# 2023年度「にんしんSOS東京」には 3,454人からの相談が寄せられました



そのうち10代からの相談は約40% パートナーからの相談も  
14%

# 実際に寄せられた相談から 妊娠不安、性暴力・・・

Aさん 高校1年生16歳

避妊については知っていたけれど相手が大丈夫っていうからコンドームをつけないで外出してしまいました  
もう2か月生理がきていません  
親には絶対言えないし  
どうしたらいいのか  
もうほんとにわからない・・・

Bさん 大学2年生19歳

彼がペニスを触った手で  
私の性器を触りました  
指に精子がついていたか  
もしれません  
妊娠しますか？

Cさん 高校2年生17歳

コンドームが破れていないことを水を入れて確認したけれど  
彼女の膣から何か白っぽいものが出てきました  
これは精子でしょうか？  
避妊がちゃんとできていたのか不安です・・・

池袋に  
OPEN

10代20代の女の子/女性のための居場所

Twitter等SNSで  
告知

# ぴこカフェ

月2回 15:00-18:00/19:00

サンシャインシティ ソラリウム



占い☆  
手相・タロット

選べる  
生理用品

Wi-Fi  
電源

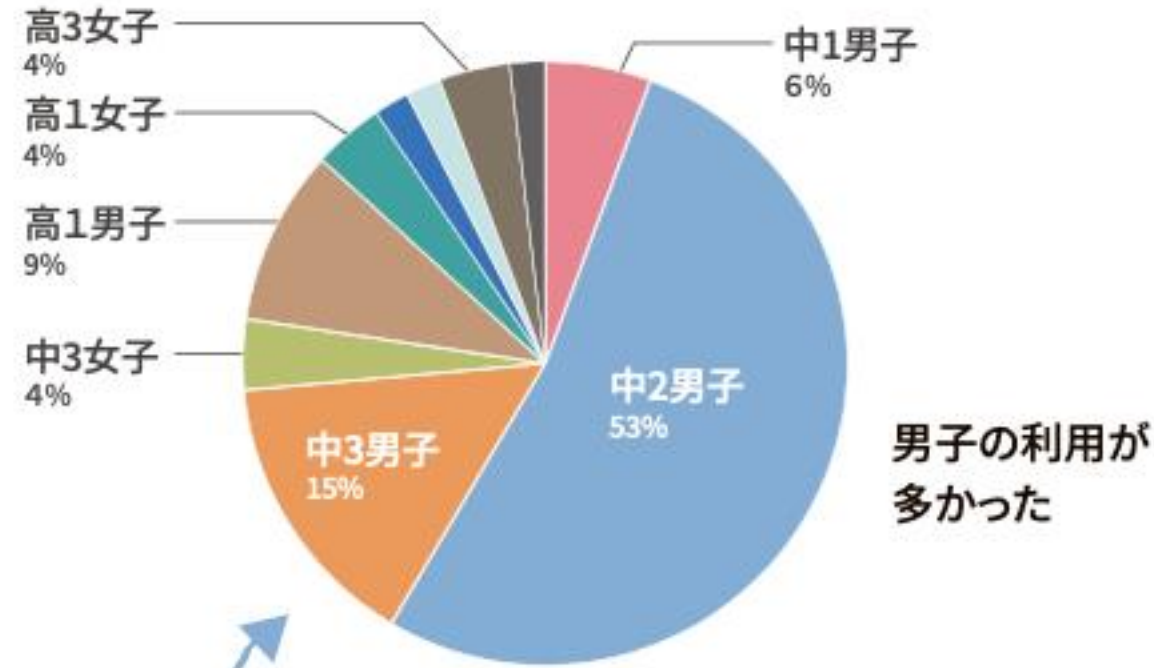


ぴこカフェは  
飲み物、手におしゃべりしたり  
一人でのんびりしたり。  
性のこと、身体のこと、家族、友だち、恋人との関係や  
生活のことなど、なんでも相談できる場所です

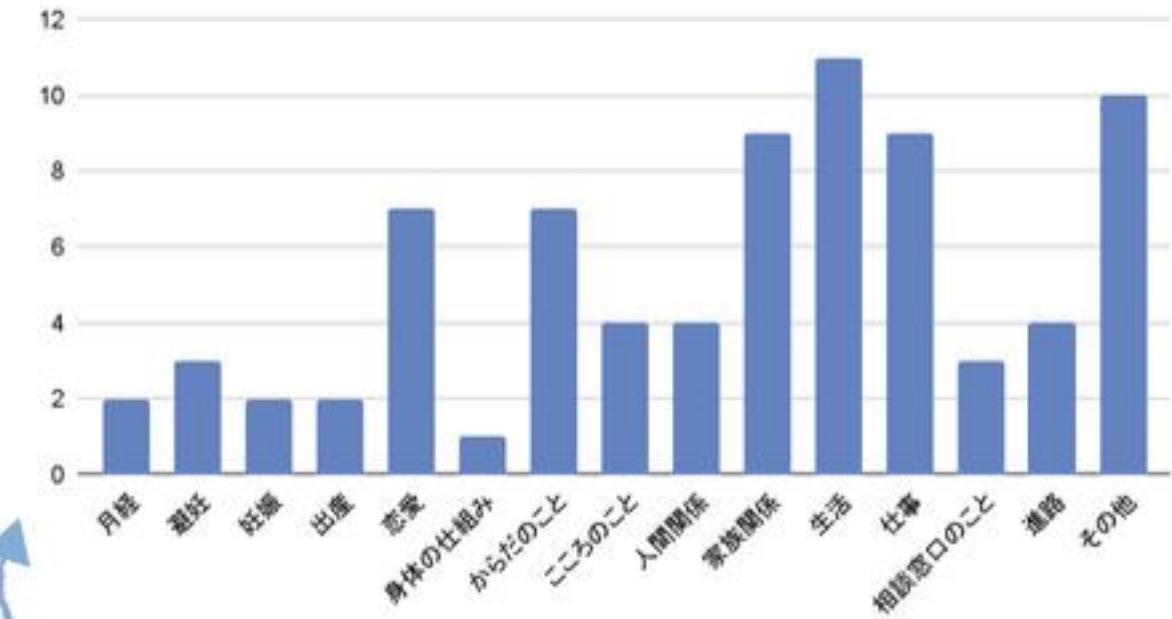


# 出張保健室「ピコタイム」延べ利用者数 **150人** / 2023.4-2024.3

## 利用者

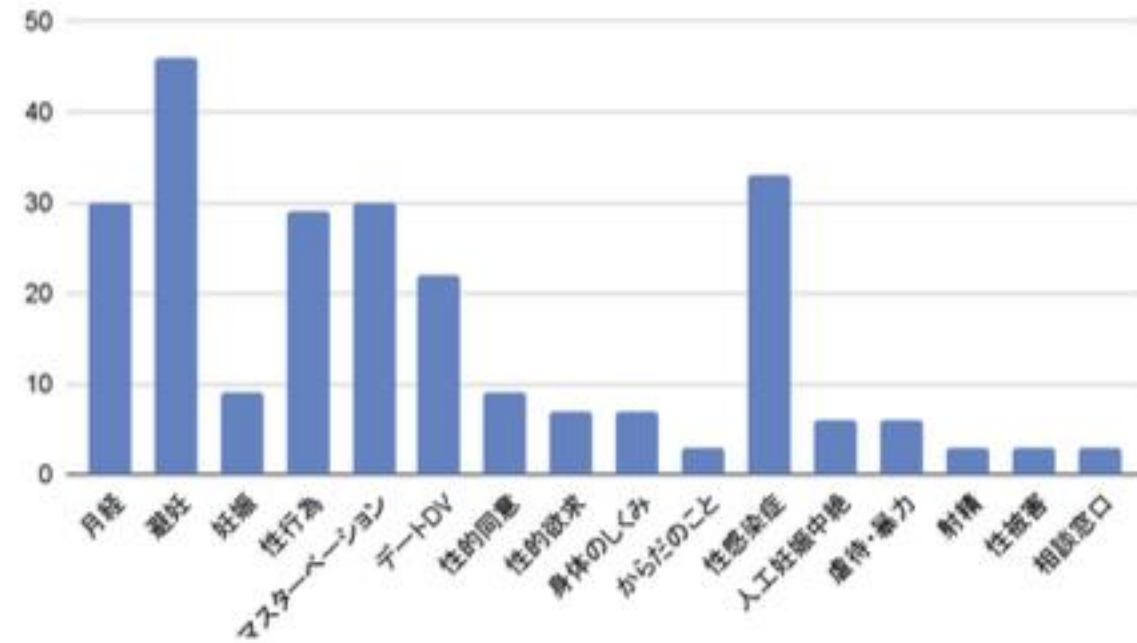


## 若者の居場所(10代後半~20代)での相談内容(延べ人数)



この居場所では、誰かと一緒というよりも、個別で相談を受けたり、話の流れで、相談や質問がでてくることが多い。相談をするという経験をしてこなかった若者たちも多い。

## 中高生の居場所での相談内容(延べ人数)



# 子どもたちの声

次の生理がいつ来るのか考えたこともない（中学生女子）

何カ月も生理が来ていないけど、10代の頃は不規則だと聞いたから気にしてない（高校生女子）

マスターベーションについて知らなかった（中学生男子）

そもそも、生理が何のためにあるのか知らない、ない方がいい（高校生女子）

いつか性行為をしたいけど、コンドームを見たことも触ったこともないしつけ方もわからない（中学生男子）

不登校気味だったので学校で性教育を受けたことがないし、性のはなしは苦手（高校生男子）

外出しは避妊法だと思っていた（中・高校生）

中間テストの朝、痴漢にあったそのまま学校に行ったけどすごく怖くてもう電車に乗れない（高校生女子）

AVは本当じゃないと聞くけど、実際にどんな流れで、性行為をするのか知りたい（高校生）

指についた精子で妊娠する？

## 知識

教えられるだけではなく、一緒に考えたり自由に質問ができる:

生理は何のためにある？

## 態度

「こういう時はどうする?」と、投げかけることで、自由にそれぞれの考えを話すことができる:

相手が大丈夫って言うから・

マスターベーションって？

## スキル

嫌だと思っても、好きな人から言われると、断わりづらいことはある。そんな時に、どのような伝え方ができるのか、友だちとも一緒に考えてみる。

避妊がちゃんとできたか心配な時にできることは？

友人やネットの誤った情報を頼りにするしかないため  
時にはリスクを負ってしまう

# 性教育って？

月経や射精

性感染症

受精や妊娠・出産

避妊方法

身体の仕組み・性  
器の違い



ユネスコ、世界保健機構（WHO）ユニセフ（UNICEF）の

「国際セクシュアリティ教育ガイダンス」：世界の性教育のスタンダード  
基本的人権と科学的な根拠による、ひとりひとりのWell beingを目指した包括的性教育  
知識・スキル・姿勢（態度）を身につけるための学び

The screenshot shows the WHO website page for the 'International technical guidance on sexuality education'. The page features the WHO logo at the top left, a navigation bar with links for Home, Health Topics, Countries, Newsroom, Emergencies, Data, and About WHO. The main heading is 'International technical guidance on sexuality education', with a subtitle 'An evidence-informed approach' and a date '14 March 2018 | Publication'. There are social media sharing icons for print, email, Facebook, Twitter, and a plus sign. The page is divided into three columns: a left column with a book cover image and a 'Download (7.3 MB)' button; a middle column with an 'Overview' section containing text about Comprehensive Sexuality Education (CSE) and its importance; and a right column with metadata including 'WHO TEAM', 'EDITORS', 'NUMBER OF PAGES', 'REFERENCE NUMBERS', and 'COPYRIGHT'. A 'Français' button is located at the bottom right of the right column.

**World Health Organization**

Home / Publications / Overview / International technical guidance on sexuality education

## International technical guidance on sexuality education

An evidence-informed approach

14 March 2018 | Publication

**Overview**

Comprehensive sexuality education (CSE) plays a central role in the preparation of young people for a safe, productive, fulfilling life in a world where HIV and AIDS, sexually transmitted infections (STIs), unintended pregnancies, gender-based violence (GBV) and gender inequality still pose serious risks to their well-being. However, despite clear and compelling evidence for the benefits of high-quality, curriculum-based CSE, few children and young people receive preparation for their lives that empowers them to take control and make informed decisions about their sexuality and relationships freely and responsibly.

Countries are increasingly acknowledging the importance of equipping young people with the knowledge and skills to make responsible choices in their lives, particularly in a context where they have greater exposure to sexually explicit material through the Internet and other media.

**WHO TEAM**  
Sexual and Reproductive Health and Research

**EDITORS**  
UNESCO

**NUMBER OF PAGES**  
166

**REFERENCE NUMBERS**  
ISBN: 978-92-3-100259-5

**COPYRIGHT**  
CC BY-NC-ND 3.0 IGO

**Download (7.3 MB)**

**Other languages**

**Français**

# 包括的 性教育って？

人権

セクシュアリティ

性感染症

中絶

月経や射精

性暴力

受精や妊娠・出産

ジェンダー  
平等

グループミニング

DV

性と生殖の  
権利

同意

避妊方法

家族の形

身体の仕組み・性  
器の違い

性と生殖の健康

バウンダリ

多様性

# 包括的性教育がない社会って？

車の仕組みや交通ルールを学ぶことなく  
仮免許での路上運転の練習もせず  
免許証を持たないままの車が  
公道を走っているようなもの

自分の命やほかの人の命を守るための  
安全運転ができない  
傷ついたり傷つけたりしてしまう

# 『性と生殖に関する健康と権利』 Sexual Reproductive Health/Rights (SRHR)

自分のセクシュアリティを自分で決める  
性に関する教育や健康を守るための医療を受けられる  
子どもを持つか持たないか、何人持つかを自分で決められる

わたしのからだのことはわたしが決めて  
いい

性について話したり考えたりすることは自分自身を大切に  
他者も尊重して生きていく上で大切な学び

どんなに学んで準備したとしても  
相手があることだからこそ思いがけないことが起こりうる



その時に一人で抱え込まず  
「誰かとつながる力」をもっていてほしい

そのために日ごろから性について身近な誰かと語り合い  
助け合う関係性を